

## 武漢事務所便り週間新聞記事報告 2010.02.20 - 2010.02.26

2010年2月24日付け「長江日報」

### 湖北省の春節旅行収入 14 億元

春節期間中、湖北省への国内外からの観光客は400万人を超え、前年度同期比では14%の増加となり、観光総収入は約14億元(約182億円:1元=13円)、前年度同期比で30%増加し、史上最高となっている。そのうち、省外からの観光客数は大幅な増加傾向にある。

湖北省旅遊局の資料によると、春節期間中、湖北省内における温泉旅行、グリーンツーリズムなどの旅行項目は最も人気がある。昨年末、武漢広州間の高速度鉄道が開通し、華南地区から湖北省への重要な交通動脈が開拓された。鉄道周辺都市は観光客の旅行ブームを呼び、湖北省への観光客数の大幅成長の要因となっている。武漢市の主要な旅行社の統計によると、今年、武漢に訪れたインバウンド数は初めてアウトバウンド数を超えた。

2010年2月26日付け「楚天都市新聞」

### 武漢「市民の家」が着工

武漢市民は結婚届、不動産の登録、電気・ガス・水道代の支払などの手続きを1か所で済すことができるようになる。昨日、武漢「市民の家」が正式に着工し、来年末完成後は、市民の皆さんに政府関係部門及び公共機関56部署の行政審査許可と公共サービスなどをワンストップサービスで提供することが

できる。

現在、武漢市では区レベルの行政サービスセンターが 15 か所、市直轄の独立サービス窓口 24 か所、及び外商投資連合事務センター、建設工事連合審査許可及び建設工事振興センターなどの 4 つの集中事務センターがあるが、今まで全市統一の行政サービスセンターはなかった。今年、武漢市政府は市レベルの行政サービスセンターを設立することとしており、「市民の家」は着手すべき 10 項目の手始めと考えている。「市民の家」の建築面積は 6.5 万平方メートル、投資総額は 2.73 億元で、江岸区金橋大道と中環線交差の南西の角、都市快速交通の接点に位置する。地下鉄 3 号線及び多数のバス線路はここにステーションを設置する予定であり、市民に利便性を提供する。

「市民の家」が設置された後、武漢市行政審査許可及び公衆サービス部門は「市民の家」にサービス窓口を設置し、ワン・ストップ・サービスを提供する。そのほか、公共資源の取引のプラットフォームも「市民の家」の中に入る予定である。建設工事の入札、土地売買、政府による購入、医薬材料設備購入などもここで行える。

武漢市規律検査委員会関係責任者によると、武漢「市民の家」の設置は法令遵守が確保されている行政、サービス型の政府を構築することによって、行政と市民の関係の改善を促進しながら、公共資源取引のプラットフォームの調整、管理、規範ある取引の実施、ブラックボックスである談合防止、公共資源取引分野の汚職防止を図るものとなる。